

発刊にあたって

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について」（平成28年12月 中央教育審議会答申）を受け、小中学校では平成29年3月に、高等学校では平成30年3月に新学習指導要領が告示され、令和2年度は小学校において全面実施されています。学校教育には、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められています。そのため「社会に開かれた教育課程」や「カリキュラム・マネジメント」などの実現が必要とされています。

本県においては、令和2年3月に策定された「しまね教育魅力化ビジョン」に基づき、「教育の魅力化」に向け、学校・家庭・地域・行政が連携し、一体となって本県教育を進めています。

さて、教育センターでは、「学び続ける教職員の育成と校内OJTを支援する教育センター」をグランドデザインに掲げ、教育課題に対応した研修内容の検討、研修指導者の育成、校内授業研究の活性化のための支援、出前講座・要請訪問の積極的な実施など、教育庁各課や教育事務所と連携しながら業務を行っています。

さらに、教職員の皆様の参考になり、教育課題の解決の一助となることを目指し、調査・研究活動に取り組んでいます。今年度も、これからの学校教育の在り方や新学習指導要領の重点項目とも言えるテーマで、研究を進めてまいりました。これらの内容が、各校の教育実践の参考となり、児童生徒や地域の実態に応じた学校づくりや学級づくり、教職員一人一人の資質能力の向上を目指す研修や研究活動に活用され、教育実践の充実につながることを切に願っています。

最後に、研究を進めるにあたり、ご支援ご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

島根県教育センター 所長
島根県教育センター浜田教育センター長
福間 俊行

【研究紀要】

R2-1 「若手教職員を育成する校内サポート体制づくり」を支える教育センターとしての関わり (1年次/3年)	島根県教育センター 企画・研修スタッフ共同研究
R2-2 小学校プログラミング教育に関する教職員研修の在り方についての一考察 ～授業実践に対する教職員の認識に焦点を当てて～ (1年次/1年)	島根県教育センター 研究・情報スタッフ共同研究
R2-3 保護者と学校のよりよい関係づくりを考える ～保護者との関係づくりに生かす校内研修パッケージの提案～ (3年次/3年)	島根県教育センター 教育相談スタッフ 相談セッション共同研究
R2-4 特別支援学級担任等への支援の充実に向けて ～ホームページでの情報発信を通して～ (2年次/2年)	島根県教育センター 教育相談スタッフ 特別支援教育セッション共同研究
R2-5 教科等横断的な学びに関する一研究 (2年次/2年)	島根県教育センター浜田教育センター 研究・研修スタッフ共同研究
R2-6 学校現場を支える教育センターの役割 ～「ケース」支援を通じて～ (2年次/2年)	島根県教育センター浜田教育センター 教育相談スタッフ共同研究